

令和5年度

特色ある事業

相生市

令和5年度 相生市の特色ある事業

分野	区分	事業名等	事業費(千円)	担当課	ページ
教育 (8事業)	新	幼保・小中適正配置実施事業	500	企画広報課	1
	定	市立幼稚園3歳児保育事業	12,787	管理課	2
	定	市立幼稚園預かり保育事業	7,499	管理課	3
	ふ・定	市立幼稚園・小・中学校給食無料化事業	105,836	学校教育課	4
		相生型ハイブリッド学習事業	5,570	学校教育課	5
	新	英検チャレンジ事業	780	学校教育課	6
	定	ワンピース・イングリッシュ・AIOI事業	24,056	学校教養課	7
	定	相生っ子学び塾事業	3,598	生涯学習課	8
子育て支援 (6事業)	定 新	こども医療費助成事業 (高校生等通院医療費拡大分)	56,817	市民課	9
	定 新	出産・子育て応援事業	44,119	子育て元気課	10・11
		新 保育士等賃貸借住宅賃借料等補助事業	1,200	子育て元気課	12
	定	妊活カップル応援事業	4,500	子育て元気課	13
	ふ	産婦人科・小児科オンライン医療相談事業	5,412	子育て元気課	14
		新 市民病院婦人科開設事業	13,000	市民病院	15
安全・安心 (3事業)		新 ドローン管理運営事業	565	危機管理課	16
		新 危険木伐採事業補助金給付事業	1,000	農林水産課	17
		高齢者補聴器購入助成事業	1,000	長寿福祉室	18
相生の元気 (3事業)	定	あつまれ新婚さん新生活応援金支給事業	24,000	定住促進室	19
	定	住宅取得奨励金交付事業	12,000	定住促進室	20
	ふ	あいおい暮らしお試し移住事業	5,716	定住促進室	21
その他 (7事業)		新 SDGs推進事業	750	企画広報課	22
	ふ	新 公式LINE・AIチャットボット導入事業	3,278	企画広報課	23
	ふ	新 シニアスマホ教室事業	500	長寿福祉室	24
		新 脱炭素推進事業者支援事業	1,000	環境課	25
		新 相生スマートIC(仮称)調査事業	16,211	都市整備課	26
		道路照明LED化事業	14,300	都市整備課	27
		新 市民体育館バリアフリー化改修事業	140,500	体育振興課	28
合計(27事業)			506,494		

区分の「ふ」は、ふるさと応援基金事業、「定」は、定住施策11の鍵事業、「新」は、新規事業

令和5年度当初予算特色ある事業

事業名	幼保・小中適正配置実施事業	担当課	企画広報課・管理課																																
区分	新規・継続・定住・ふるさと	担当者	石井・富田																																
事業の必要性	<p>相生市における未就学児の保育・教育の目指す方向性について検討を行い、今後整備予定の新たな保育施設にその方向性を反映させるとともに、魅力的で特色のある未就学児の保育・教育を提供することを目指す。</p> <p>また、地域の核でもある小中学校については、地域における学校の在り方を大切に、地域とともに子どもたちにとって良好な教育環境を創出していくため、第2次相生市立小中学校適正配置計画の推進を図る。</p>																																		
事業の内容	<p>未就学児の保育・教育の目指す方向性について、先進地視察の実施や有識者の参画による庁内関係各課での検討を行う。</p> <p>また、小中学校においては、第2次相生市立小中学校適正配置計画に基づき、「検討を開始する基準」に合致した学校で地区別説明会等を実施するとともに地域協議会を設置し、地域とともに学校の在り方の検討を行う。</p>																																		
事業費	500千円																																		
事業費の内訳	<table border="0"> <tr> <td>報償費</td> <td>250千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>118千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>132千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">(内訳)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">【幼保】</td> <td colspan="2">【小中】</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>100千円</td> <td>報償費</td> <td>150千円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>100千円</td> <td>旅費</td> <td>18千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>印刷製本費</td> <td>132千円</td> </tr> </table>			報償費	250千円			旅費	118千円			印刷製本費	132千円			(内訳)				【幼保】		【小中】		報償費	100千円	報償費	150千円	旅費	100千円	旅費	18千円			印刷製本費	132千円
報償費	250千円																																		
旅費	118千円																																		
印刷製本費	132千円																																		
(内訳)																																			
【幼保】		【小中】																																	
報償費	100千円	報償費	150千円																																
旅費	100千円	旅費	18千円																																
		印刷製本費	132千円																																
財源の内訳	(特定財源) —	(一般財源) 500千円																																	
実施時期 (工期)	令和5年4月～令和6年3月																																		
備考																																			

令和5年度当初予算特色ある事業

事業名	市立幼稚園3歳児保育事業	担当課	管理課
区分	新規・ 継続 ・ 定住 ・ふるさと	担当者	富田
事業の必要性	<p>幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期であるため、3歳児より基本的な生活習慣を身につけることを目的に実施する。</p>		
事業の内容	<p>当市では、3歳児の幼稚園教育を県下で最も早く導入し、幼児の豊かな心の育成、基本的な生活習慣の形成、道徳性・規範意識の醸成などを柱として教育活動を行っている。</p> <p>市立幼稚園全園で実施し、保育時間は10月までが午前保育、11月からが午後2時までとなっている。</p> <p>園児が20人を超える場合には、パート補助教諭1名の追加配置により実施している。</p>		
事業費	12,787千円		
事業費の内訳	<p>人件費 8,163千円</p> <p>工事請負費 300千円 (幼稚園施設整備事業費)</p> <p>需用費等 4,324千円 (幼稚園管理事業費)</p>		
財源の内訳	(特定財源) —	(一般財源) 12,787千円	
実施時期 (工期)	令和5年4月～令和6年3月		
備考			

令和5年度当初予算特色ある事業

事業名	市立幼稚園預かり保育事業	担当課	管理課
区分	新規・ 継続 ・ 定住 ・ふるさと	担当者	富田
事業の必要性	<p>平成19年6月に学校教育法が改正され、幼稚園の役割として子育て支援が位置づけられている。</p> <p>幼稚園教育の機会拡充及び子育て支援の拡充により、保護者の子育てに関する不安の解消やストレスの緩和と幼児の健やかな成長を支援する。</p>		
事業の内容	<p>市立幼稚園の保育時間終了後、希望する園児に延長して保育を行う。</p> <p>預かり保育時間は通常保育終了後から午後5時00分まで。夏休みなどの長期休業期間などは実施しない。</p> <p>預かり保育料は無料（2号認定者は国の無償化制度、1号認定者は市の減免制度）とし、市立幼稚園全園で実施する。</p> <p>なお、定員は各園35人。対象者は、実施する幼稚園に通う4歳児又は5歳児。</p>		
事業費	7,499千円		
事業費の内訳	<p>人件費 6,936千円（パート指導員）</p> <p>需用費 563千円（消耗品費、燃料費）</p>		
財源の内訳	<p>（特定財源）</p> <p>国庫補助金 2,312千円</p> <p>県補助金 2,312千円</p>	<p>（一般財源）</p> <p>2,875千円</p>	
実施時期 （工期）	令和5年4月～令和6年3月		
備考			

令和5年度当初予算特色ある事業

事業名	市立幼稚園・小・中学校給食無料化事業	担当課	学校教育課
区分	新規・ 継続 ・ 定住 ・ ふるさと	担当者	小柳
事業の必要性	<p>豊富な献立メニューと栄養バランスのとれた学校給食の給食費を無料化することにより、教育の充実に資するとともに、保護者の経済的負担を軽減し、子育てを支援することを目的とする。</p> <p>平成23年4月より事業を開始し、令和5年度についても継続して実施する。</p>		
事業の内容	<p>対 象 市内に住所を有する市立幼稚園児・小学校児童・中学校生徒の保護者 特別支援学校に通学する市内に住所を有する児童・生徒の保護者</p> <p>助成額 保護者が負担すべき学校給食費の額の全額</p>		
事業費	105,836千円		
事業費の内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金 105,836千円（学校給食費助成金） 		
財源の内訳	<p>（特定財源）</p> <p>繰入金 50,500千円</p>	<p>（一般財源）</p> <p>55,336千円</p>	
実施時期 （工期）	令和5年4月 ～ 令和6年3月		
備考			

令和5年度当初予算特色ある事業

事業名	相生型ハイブリッド学習事業	担当課	学校教育課
区分	新規・ 継続 ・定住・ふるさと	担当者	小柳
事業の必要性	<p>ICT機器を活用した一斉学習・個別学習・協働学習を推進するとともに、ふれあいや絆を重視した日々の授業や体験活動の意義を尊重し、実施方法等の見直しや改善を図り、両方の持ち味を活かす「相生型ハイブリッド学習」の充実を図る。それらを通して、児童生徒一人ひとりに知徳体のバランスが取れた教育を行い、人間力の伸長を図る。</p>		
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した学習の充実 研修講座や校内研修を継続し、学校間の遠隔合同授業、平常時や長期休業中の家庭学習を含め、より効果的な学習端末の活用を進める。 また、児童生徒の学習活動の中で、効果的な場面や方法を研究し、より効果的に活用する。 ・ふれあいや絆を重視した学習の継続・充実 主体的で対話的な活動を取り入れた学習や、創意ある学校園づくり推進事業を活用し、他者や地域人材等から学ぶ体験活動を重視した実践を行う。 ・デジタル教育環境の促進 ICT支援員による活用マニュアルの作成や個別操作研修、ICTを活用した授業提案・支援等により、教員がICT化を円滑に効果的に進められるようにする。 		
事業費	5,570千円		
事業費の内訳	<p>補助金 900千円 (創意ある学校園づくり推進事業補助金) 報償費 50千円 委託料 3,234千円 (小学校支援員) 委託料 1,386千円 (中学校支援員)</p>		
財源の内訳	(特定財源) —	(一般財源) 5,570千円	
実施時期 (工期)	令和5年4月 ~ 令和6年3月		
備考			

令和5年度当初予算特色ある事業

事業名	英検チャレンジ事業	担当課	学校教育課
区分	新規・継続・定住・ふるさと	担当者	小柳
事業の必要性	英語学習への意欲喚起及び英語能力の伸長を図り、ワンピース・イングリッシュ・AIOI事業による12年間の系統性を見据えた総合的なプログラムの到達点であり、文部科学省も指標とする英検取得率の向上を目標とすることで、子どもたちの英語学習への意欲をさらに引き出すことを目的とする。		
事業の内容	<p>対象者 英語検定4級以上を受けた児童生徒</p> <p>補助額 英語検定受験料の1/2を補助する</p>		
事業費	780千円		
事業費の内訳	補助金 780千円（英語検定受験料補助金）		
財源の内訳	(特定財源) —	(一般財源) 780千円	
実施時期 (工期)	令和5年4月～令和6年3月		
備考			

令和5年度当初予算特色ある事業

事業名	ワンピース・イングリッシュ・AIOI事業	担当課	学校教育課・生涯学習課
区分	新規・ 継続 ・ 定住 ・ふるさと	担当者	小柳・野間
事業の必要性	子ども達がグローバル社会の中でたくましく生きる力を身に付けていけるよう、幼児期から中学校卒業までの12年間を通じ、一つながりで体系的な取組みを行い、実践型の生きた英語を習得する環境づくりを目指す。		
事業の内容	(学校教育課) 幼稚園及び小学校への専属FLTの配置 (生涯学習課) 相生っ子学び塾 (英語)		
事業費	24,056千円		
事業費の内訳	○専属FLT配置 ・委託料 23,022千円 (外国語指導助手派遣委託料) ○相生っ子学び塾 (英語) ・報償費 756千円 (講師等謝礼) ・需用費 230千円 (消耗品費外) ・役務費 48千円 (保険料)		
財源の内訳	(特定財源) 諸収入 35千円	(一般財源) 24,021千円	
実施時期 (工期)	令和5年4月 ~ 令和6年3月		
備考			

令和5年度当初予算特色ある事業

事業名	相生っ子学び塾事業	担当課	生涯学習課
区分	新規・ 継続 ・ 定住 ・ふるさと	担当者	野間
事業の必要性	相生市の将来を担う子どもたちの生きる力を養うために、基礎学力の定着と自学の姿勢を身に付けさせる必要があるため、実施する。		
事業の内容	<p>対象者：市内小学校5、6年生（珠算のみ4、5、6年生）</p> <p>講座：国語・算数、英語、珠算</p> <p>場所：放課後各小学校（国語・算数、英語） 文化会館（英語、珠算）</p> <p>時間：概ね毎週1回、夏期1時間、冬期45分（国語・算数） 概ね月1回、夏期1時間、冬期45分（小学校）（英語） 概ね月2回、通年1時間（文化会館）（英語） 概ね月3回、1時間（珠算）</p> <p>講座内容：プリントによる自学自習を通して苦手意識を克服する（国語・算数） 英語の復習や定着を目的とする（英語） 計算の基本である珠算（暗算含む）を習得する（珠算）</p> <p>講師：教員免許及び指導経験を有する人（国語・算数） 英語教育に関心や指導経験のある人（英語） 塾講師（元講師含む。）や珠算指導に関心のある人、市内県立高校生（珠算）</p>		
事業費	3,598千円		
事業費の内訳	<p>報償費 2,231千円（講師等謝礼）</p> <p>需用費 461千円（消耗品費外）</p> <p>役員費 96千円（保険料）</p> <p>賃金 810千円（学び塾コーディネーター）</p>		
財源の内訳	<p>（特定財源）</p> <p>県補助金 830千円</p> <p>諸収入 69千円</p>	<p>（一般財源）</p> <p>2,699千円</p>	
実施時期 （工期）	令和5年4月～令和6年3月		
備考	※英語講座に係る事業費は、「ワンピース・イングリッシュ・AIOI事業」に記載		

令和5年度当初予算特色ある事業

事業名	こども医療費助成事業 (高校生等通院医療費拡大分)		担当課	市民課
区分	新規・継続・定住・ふるさと		担当者	小林
事業の必要性	<p>こどもに係る医療費の自己負担分を助成することにより、子育て世代の経済的負担を緩和し、安心して子育てができる環境をつくる。 令和5年度中に、新たに高校生等に係る通院医療費の助成を開始する。</p> <p>※助成開始時期は未定</p>			
事業の内容	<p>こどもに係る医療費の自己負担分を助成し、無料とする。 対象者：小学4年から高校3年までの児童・生徒等 (高校に通っていない場合もある。) 対象医療：入院及び通院医療 助成内容：医療保険における自己負担分の助成 (高額医療費は除く。) 所得制限：市民税所得割23.5万円未満 助成方法：現物給付(受給者証を交付)及び償還払(現金給付)</p>			
事業費	56,817千円			
事業費の内訳	<p>旅費 4千円 需用費 160千円(消耗品費、印刷製本費、食糧費) 役務費 1,358千円(通信運搬費、手数料) 委託料 3,124千円 補助金 271千円 扶助費 51,900千円(こども医療費)</p>			
財源の内訳	(特定財源)	(一般財源)		
	県補助金 7,539千円	49,278千円		
実施時期 (工期)	令和5年4月～令和6年3月			
備考				

令和5年度当初予算特色ある事業

事業名	出産・子育て応援事業	担当課	子育て元気課
区分	新規・継続・定住・ふるさと	担当者	坂本・中山
事業の必要性	<p>全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう、寄り添った相談が図れる体制を強化し、ニーズに即した支援につなぐとともに、出産育児関連用品の購入費等などの経済的負担の軽減、並びに親の子育て力及び地域の子育て支援力の底上げを図りながら、新たな子の誕生を心から祝福する。</p>		
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 伴走型相談支援事業 妊婦及び主に0歳から2歳までの乳幼児を養育する子育て世帯に寄り添いながら、身近で相談に応じ、必要な支援に繋ぐ伴走型の相談支援を行う。 2 出産・子育て応援給付金支給事業 出産及び子育てに係る経済的負担の軽減を図るため、出産応援給付金として、妊娠1回につき5万円を支給し、さらに子育て応援給付金として、出生した乳児1人につき5万円を支給する。 3 出産祝金支給事業 出生児1人につき1万円の祝金を支給し、新たな子の出生を祝福する。 4 子育て応援券交付事業 出生した乳児の保護者に、その乳児が3歳に達するまで有料の子育て支援サービスに利用できる応援券2万円相当分を交付する。 ※3歳未満の乳児が転入した際には月割りした額の応援券を交付する。 		

事業費	44,119千円	
事業費の内訳	<p>1 伴走型相談支援事業</p> <p> 需用費 140千円</p> <p> 役務費 111千円</p> <p> 人件費 4,560千円</p> <p> 合 計 4,811千円</p> <p>2 出産・子育て応援給付金支給事業</p> <p> 負担金補助及び交付金 22,000千円</p> <p>3 出産祝金支給事業</p> <p> 需用費 3千円</p> <p> 扶助費 14,900千円</p> <p> ※内2号祝金経過措置分 12,900千円</p> <p> 合 計 14,903千円</p> <p>4 子育て応援券交付事業</p> <p> 需用費 391千円</p> <p> 役務費 14千円</p> <p> 負担金補助及び交付金 2,000千円</p> <p> 合 計 2,405千円</p>	
財源の内訳	(特定財源)	(一般財源)
	<p>国補助 17,872千円</p> <p>県補助 4,467千円</p>	<p>21,780千円</p> <p>内 伴走型相談支援 804千円</p> <p> 応援給付金 3,668千円</p> <p> 出産祝金 14,903千円</p> <p> 子育て応援券 2,405千円</p>
実施時期 (工期)	令和5年4月 ～ 令和6年3月	
備 考		

令和5年度当初予算特色ある事業

事業名	保育士等賃貸借住宅賃借料等補助事業	担当課	子育て元気課
区分	新規・継続・定住・ふるさと	担当者	坂本
事業の必要性	<p>保育所等の入所可能児童数の増加による待機児童の解消を目指すため、市内の私立保育所等に新たに勤務する保育士等に、賃貸借住宅の賃借料（家賃）の一部を補助し、就職の動機付けを図ることで、保育士確保と就労促進につなげる。</p>		
事業の内容	<p>対象者 令和5年4月1日以降、新たに市内の私立保育所等で勤務する賃貸借住宅に居住している常勤の保育士等</p> <p>補助基準額 一人あたり月額1万円</p> <p>補助対象期間 採用後36か月</p>		
事業費	1,200千円		
事業費の内訳	負担金補助及び交付金 1,200千円		
財源の内訳	(特定財源) —	(一般財源) 1,200千円	
実施時期 (工期)	令和5年4月～令和6年3月		
備考			

令和5年度当初予算特色ある事業

事業名	妊活カップル応援事業		担当課	子育て元気課
区分	新規・ 継続 ・ 定住 ・ふるさと		担当者	中山
事業の必要性	<p>特定不妊治療が令和4年4月から保険適用となったが、保険適用後の自己負担は、高額療養費制度を適用しても比較的高額になる。さらに治療にあたっては、妊娠適齢期があることや、治療にあたっての心身的負担も大きいことなどの理由により、治療開始を躊躇している夫婦に対し、妊娠適齢期に安心して適正な治療が行えるよう給付金を支給し、該当夫婦を応援する。</p>			
事業の内容	<p>体外受精及び顕微授精を行う夫婦に対して、1クールの治療当たり5万円の給付金を年6回を限度に支給する。</p>			
事業費	4,500千円			
事業費の内訳	補助金 4,500千円			
財源の内訳	(特定財源) —		(一般財源) 4,500千円	
実施時期 (工期)	令和5年4月～令和6年3月			
備考				

令和5年度当初予算特色ある事業

事業名	産婦人科・小児科オンライン医療相談事業	担当課	子育て元気課
区分	新規・ 継続 ・定住・ ふるさと	担当者	中山
事業の必要性	<p>ウィズコロナ・アフターコロナにおいて、妊娠期から子育て世代までの医療に関する不安や悩みを解消するため、外出することなく自宅からオンラインで産婦人科医や小児科医等による相談ができる体制を整備する。</p>		
事業の内容	<p>1 夜間相談（平日18時から22時） LINEアプリ又はスマートフォンを使用してビデオ電話、音声通話又はメッセージチャットで産婦人科医、小児科医又は助産師に直接相談できる。（要予約）</p> <p>2 いつでも相談 専用フォームからメッセージで相談内容を質問し、24時間以内に医師等による回答を受け取ることができる。</p> <p>3 医療記事配信 受信希望者に医療記事を配信する。</p> <p>4 くすり案内ボット 4～5つの質問に答えると、妊娠中・授乳中の困った症状への薬情報を提供する。</p>		
事業費	5,412千円		
事業費の内訳	電算システム使用料 5,412千円		
財源の内訳	(特定財源) 繰入金 4,000千円	(一般財源) 1,412千円	
実施時期 (工期)	令和5年4月～令和6年3月		
備考			

令和5年度当初予算特色ある事業

事業名	市民病院婦人科開設事業 (病院事業会計)		担当課	市民病院
区分	新規・継続・定住・ふるさと		担当者	後藤
事業の必要性	相生市内で婦人科が不足しており、市外の病院を受診される方が多い状況である。市民の方が安心して生活できる環境を整備するために婦人科の開設は重要である。			
事業の内容	開設予定：令和5年6月 診察日程：毎週水曜日 15時～18時30分 診察内容：検診、婦人科疾患、初期の妊娠判断等の外来診察			
事業費	13,000千円			
事業費の内訳	報酬 3,000千円 内診台 3,000千円 経膈プローブ 2,500千円 その他備品 2,000千円 診察室改修経費 2,500千円			
財源の内訳	(特定財源) 市債 10,000千円		(一般財源) 3,000千円	
実施時期 (工期)	令和5年6月			
備考				

令和5年度当初予算特色ある事業

事業名	ドローン管理運営事業	担当課	危機管理課
区分	新規・継続・定住・ふるさと	担当者	根津
事業の必要性	<p>災害の激甚化が進む中で、ドローンの運用により、広範囲の被害状況の確認、特定箇所の詳細確認等、災害発生時に早い段階で被害状況を把握することができ、災害対応計画の策定、その後の災害対応を迅速に進めることができる。また、道路寸断、土砂崩れ等の車両や人が立ち入ることのできない現場の状況の把握、無人確認による現場での二次被害のリスク軽減を図る。</p>		
事業の内容	<p>ドローンを導入し、災害時の被害状況収集等に備え管理する。また、ドローン操縦資格講習を受講し、フライト実施における知識及び操縦技術を身に付け、安全対策を整えるとともに、飛行許可申請に必要な資格を取得する。</p>		
事業費	565千円		
事業費の内訳	<p>備品購入費 345千円（ドローン購入費） 負担金補助及び交付金 220千円（ドローン資格講習受講料）</p>		
財源の内訳	(特定財源) —	(一般財源) 565千円	
実施時期 (工期)	令和5年4月～令和6年3月		
備考			

令和5年度当初予算特色ある事業

事業名	危険木伐採事業補助金給付事業	担当課	農林水産課
区分	新規・継続・定住・ふるさと	担当者	長治
事業の必要性	住宅等への倒木被害から市民の生命及び財産を保護するため、市内の危険木の伐採、撤去及び処分を行う者に対し、危険木伐採事業補助金を交付する。		
事業の内容	森林環境譲与税を活用し、市内における森林法第2条第1項に規定する森林内に存する樹木であり、目通り直径が20センチメートル以上で、かつ、樹高が5メートル以上のもので、倒木により住宅に被害を与えるおそれのある立木又は住宅若しくは市民の生命及び財産に被害を与えるおそれのある倒木の伐採、撤去、処分に要する経費の2分の1以内で上限20万円を補助する。		
事業費	1,000千円		
事業費の内訳	補助金 1,000千円 内訳 5件×200千円		
財源の内訳	(特定財源) 森林環境譲与税 1,000千円	(一般財源) —	
実施時期 (工期)	令和5年4月～令和6年3月		
備考			

令和5年度当初予算特色ある事業

事業名	高齢者補聴器購入助成事業	担当課	長寿福祉室
区分	新規・ 継続 ・定住・ふるさと	担当者	中村
事業の必要性	<p>聴力機能の低下により家族等とコミュニケーションがとりにくい高齢者に対し、補聴器の購入に要する費用の一部を助成することにより、円滑なコミュニケーションの確保及び引きこもりの防止を図り、社会参加を促すとともに認知症予防のためにも必要な事業である。</p>		
事業の内容	<p>2万円を上限に補聴器の購入費用を助成する。 対象者は65歳以上の者で、医師が必要性を認めた者とする。(中程度の難聴者) 助成額は補聴器本体1台分の購入費の範囲内で2万円を限度(一人1回限り。)とする。 なお、所得要件は設けない。</p>		
事業費	1,000千円		
事業費の内訳	扶助費 1,000千円		
財源の内訳	(特定財源) 繰入金 1,000千円	(一般財源) —	
実施時期 (工期)	令和5年4月 ~ 令和6年3月		
備考			

令和5年度当初予算特色ある事業

事業名	あつまれ新婚さん新生活応援金支給事業	担当課	定住促進室
区分	新規・ <u>継続</u> ・ <u>定住</u> ・ふるさと	担当者	関本
事業の必要性	<p>国の結婚新生活支援事業を一部活用しながら、結婚に伴う新生活のスタートアップに係る支援を実施することで、子育て世代の転入促進・転出抑制を図るとともに、出生率の向上に寄与することを目的とする。</p>		
事業の内容	<p>新婚世帯に対して、婚姻に伴う住宅取得費用、住宅賃借費用、引越費用、リフォーム費用を補助する。上限額は、婚姻日において、夫婦ともに29歳以下の世帯は60万円、夫婦ともまたはどちらか一方が39歳以下の世帯は30万円。</p> <p>加えて、継続して相生市内に在住し3年経過した場合に、15万円を追加交付する。</p> <p>なお、所得要件は設けない。 (補助金の最大額は75万円(60万円+15万円)となる。)</p>		
事業費	24,000千円		
事業費の内訳	<p>補助金 24,000千円(あつまれ新婚さん新生活応援金)</p> <p>内訳 夫婦ともに29歳以下 25世帯 夫婦ともまたはどちらか一方が39歳以下 30世帯</p>		
財源の内訳	(特定財源) 県補助金 4,350千円	(一般財源) 19,650千円	
実施時期 (工期)	令和5年4月～令和6年3月		
備考	<p>あつまれ新婚さん新生活応援金(補助額最大75万円)と住宅取得奨励金(補助額25万円)との併給を可能とすることで、子育て世代を対象に、<u>住宅・定住支援として最大100万円を補助する。</u></p>		

令和5年度当初予算特色ある事業

事業名	住宅取得奨励金交付事業		担当課	定住促進室
区分	新規・ <u>継続</u> ・ <u>定住</u> ・ふるさと		担当者	関本
事業の必要性	若者の定住により地域の活性化を図るため、住宅取得奨励金を交付し、人口の増加と子どもの笑顔があふれるまちづくりを進め、活気ある相生市を築くことを目的とする。			
事業の内容	若い世代の定住促進を図るため、事業期間中に市内に住宅を新築または購入した申請者が40歳未満の世帯、夫婦もしくは18歳未満の子どもを養育している世帯に対し、奨励金25万円を交付する。			
事業費	12,000千円			
事業費の内訳	補助金 12,000千円（住宅取得奨励金） 内訳 新規交付予定分 250千円×4件×12月			
財源の内訳	（特定財源） —		（一般財源） 12,000千円	
実施時期 （工期）	令和5年4月～令和6年3月			
備考	あつまれ新婚さん新生活応援金（補助額最大75万円）と住宅取得奨励金（補助額25万円）との併給を可能とすることで、子育て世代を対象に、 <u>住宅・定住支援として最大100万円を補助する。</u>			

令和5年度当初予算特色ある事業

事業名	あいおい暮らしお試し移住事業	担当課	定住促進室																		
区分	新規・ 継続 ・定住・ ふるさと	担当者	関本																		
事業の必要性	<p>相生市への移住を希望する人を対象に、相生市の風土や日常生活を一定期間体験する機会を提供し、移住後も地域に溶け込みやすい環境を整備することで、移住希望者の不安を解消し、ミスマッチの防止と移住の推進を図る。</p>																				
事業の内容	<p>民間住宅等を活用し、移住希望者に相生市での日常生活を体験できる住居を提供する。 また、移住に関する全般的な相談受付、サポートを行う。</p>																				
事業費	5,716千円																				
事業費の内訳	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">需用費</td> <td style="width: 30%;">824千円</td> <td style="width: 40%;">(消耗品費、光熱水費)</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>714千円</td> <td>(通信運搬費、クリーニング等)</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>3,420千円</td> <td>(物件管理)</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>495千円</td> <td>(家電レンタル等)</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>200千円</td> <td>(家具等購入費)</td> </tr> <tr> <td>負担金及び補助金</td> <td>63千円</td> <td>(自治会費)</td> </tr> </table>			需用費	824千円	(消耗品費、光熱水費)	役務費	714千円	(通信運搬費、クリーニング等)	委託料	3,420千円	(物件管理)	使用料及び賃借料	495千円	(家電レンタル等)	備品購入費	200千円	(家具等購入費)	負担金及び補助金	63千円	(自治会費)
需用費	824千円	(消耗品費、光熱水費)																			
役務費	714千円	(通信運搬費、クリーニング等)																			
委託料	3,420千円	(物件管理)																			
使用料及び賃借料	495千円	(家電レンタル等)																			
備品購入費	200千円	(家具等購入費)																			
負担金及び補助金	63千円	(自治会費)																			
財源の内訳	<p>(特定財源)</p> <p>繰入金 4,000千円</p> <p>諸収入 648千円</p>	<p>(一般財源)</p> <p>1,068千円</p>																			
実施時期 (工期)	令和5年4月 ～ 令和6年3月																				
備考																					

令和5年度当初予算特色ある事業

事業名	SDGs推進事業	担当課	企画広報課
区分	新規・継続・定住・ふるさと	担当者	関本
事業の必要性	SDGsについて一人ひとりが身近なものであると感じ、自分にできることが何かを考えるきっかけをつくることで、相生市全体でSDGsを積極的に推進し、本市の持続可能なまちづくりの実現につなげる。		
事業の内容	<p>相生市のSDGs推進のシンボルとするオリジナルロゴマークのデザインをコンテストにより市内外から広く募集する。選定したデザインは市の公式ロゴマークとして採用し、普及啓発に活用する予定である。</p> <p>そのほか、市役所各部署で担うSDGsアイコンの掲示や、市民を対象としたまちかど出前講座の開催、市内企業向けセミナーを実施することにより、SDGs推進の啓発を図る。</p>		
事業費	750千円		
事業費の内訳	消耗品費 450千円（冊子、パネル等購入費） 委託料 300千円（コンテスト開催）		
財源の内訳	(特定財源) —	(一般財源) 750千円	
実施時期 (工期)	令和5年4月～令和6年3月		
備考			

令和5年度当初予算特色ある事業

事業名	公式LINE・AIチャットボット 導入事業		担当課	企画広報課
区分	新規・継続・定住・ふるさと		担当者	竹口
事業の必要性	<p>市政情報を効果的・効率的に発信するための新たなツールとして、市公式LINEを導入する。また、行政手続きのオンライン化における「デジタル行政窓口」としての機能をLINEツールに構築することで、本市のデジタル化の円滑な推進を図る。</p> <p>問い合わせに24時間、365日対応するAIチャットボットを導入し、更なる市民サービス向上を目指す。</p>			
事業の内容	<p>令和5年10月の運用開始を目指し、市政情報の発信、行政手続き等の市政情報へのアクセス、市民アンケート、ごみ分別の問合せ、災害等の緊急時における情報発信等の機能を構築する。</p> <p>市民の問合せに対して、学習機能を有するAIが回答するAIチャットボットを市HP及びLINEに導入する。</p>			
事業費	3,278千円			
事業費の内訳	<p>委託料 2,090千円 (LINEツール構築委託、AIチャットボット構築委託)</p> <p>使用料及び賃借料 1,188千円 (コンテンツ利用料)</p>			
財源の内訳	(特定財源)		(一般財源)	
	繰入金 2,000千円		1,278千円	
実施時期 (工期)	令和5年4月～令和6年3月			
備考				

令和5年度当初予算特色ある事業

事業名	シニアスマホ教室事業	担当課	長寿福祉室
区分	新規・継続・定住・ <u>ふるさと</u>	担当者	中村
事業の必要性	<p>高齢者世代の抱えるスマートフォンの使用方法や操作等に係る課題について、講師派遣型の教室を実施し、当該課題の解決を図ることで情報格差をなくし変わりゆく情報化社会においてもシニア世代を誰一人取り残さない地域づくりを目的とする。</p>		
事業の内容	<p>市内在住の60歳以上の5人程度で構成するグループが希望する場所（市内公民館、自治会館、通いの場など）へ講師を派遣し、スマホ操作等を学ぶ場を提供する。</p>		
事業費	500千円		
事業費の内訳	<p> 需用費 221千円 役務費 4千円 報償費 275千円 </p>		
財源の内訳	(特定財源) 繰入金 300千円	(一般財源) 200千円	
実施時期 (工期)	令和5年4月 ～ 令和6年3月		
備考			

令和5年度当初予算特色ある事業

事業名	脱炭素推進事業者支援事業		担当課	環境課
区分	新規・継続・定住・ふるさと		担当者	井上
事業の必要性	国が掲げる2050年ゼロカーボン社会の実現を目標に、本市も脱炭素化を推進するため、効果的な取り組みを進めていく必要がある。			
事業の内容	自社の脱炭素の取り組みを進める事業者を支援するため、補助金を交付するとともに、脱炭素推進事業者であることの認定とPR等を行うことにより、事業部門の脱炭素化の推進を図る。			
事業費	1,000千円			
事業費の内訳	補助金 1,000千円 (100千円×10社) (補助要件) 脱炭素推進事業者である表明 脱炭素推進の取組計画書の提出 エネルギー使用量報告書の提出 市の脱炭素推進の取組への協力			
財源の内訳	(特定財源) —	(一般財源) 1,000千円		
実施時期 (工期)	令和5年4月 ~ 令和6年3月			
備考				

令和5年度当初予算特色ある事業

事業名	相生スマートIC（仮称）調査事業	担当課	都市整備課
区分	新規・継続・定住・ふるさと	担当者	船 曳
事業の必要性	<p>相生市には、高速道路インターチェンジが設置されておらず、高速道路へのアクセスが不便な状況となっている。</p> <p>高速道路（山陽自動車道）へのアクセス向上により、住民の利便性の向上及び物流の効率化が図られ、観光面においても市外からの集客が見込めるなど、新たなスマートICの設置が重要である。</p>		
事業の内容	<p>【相生スマートIC（仮称）概略設計業務】 周辺道路の現況を踏まえ、スマートICの必要性、整備方針等を検討する。</p> <p>【相生スマートIC（仮称）交通量推計調査業務】 相生市の交通量を基に、相生スマートIC設置前後の将来交通量を推計し、費用分析等を行う。</p> <p>【勉強会等】 スマートICの必要性の検討にあたって、関係機関と勉強会等を開催する。</p>		
事業費	16,211千円		
事業費の内訳	<p>【相生スマートIC（仮称）概略設計業務】 委託料 10,000千円</p> <p>【相生スマートIC（仮称）交通量推計調査業務】 委託料 6,000千円</p> <p>【勉強会等】 旅費 211千円</p>		
財源の内訳	(特定財源) —	(一般財源) 16,211千円	
実施時期 (工期)	令和5年4月 ～ 令和6年3月		
備考			

令和5年度当初予算特色ある事業

事業名	道路照明LED化事業	担当課	都市整備課
区分	新規・ 継続 ・定住・ふるさと	担当者	喜多村
事業の必要性	<p>相生市に設置している道路照明を、LED照明灯具にすることで、省エネルギー化を図り、地球温暖化に係る温室効果ガスの削減と、電気料の削減、修理並びに交換回数の削減による財政負担の低減等を図る。</p>		
事業の内容	<p>道路照明のLED化工事と維持管理を行う。 対象灯数 2,746灯</p>		
事業費	14,300千円		
事業費の内訳	<p>使用料及び賃借料 14,300千円 (令和5年度～令和14年度 10年間)</p>		
財源の内訳	(特定財源) —	(一般財源) 14,300千円	
実施時期 (工期)	令和5年4月～令和6年3月		
備考	<p>道路照明全灯LED化後に契約額の変更有 現契約額 114,180千円(令和4年12月時点)</p>		

令和5年度当初予算特色ある事業

事業名	市民体育館バリアフリー化改修事業	担当課	体育振興課
区分	新規・継続・定住・ふるさと	担当者	朝田
事業の必要性	<p>年齢や障がいの有無に関わらず、誰もが気軽にスポーツを楽しむことができるよう、施設の利便性向上を目的とする。</p> <p>また、当該施設は指定避難所であることから、災害時、高齢者や障がい者等の要配慮者を含むすべての者に良好な生活環境を提供できる施設を目指す。</p>		
事業の内容	<p>エレベーターを設置し、各階へのアプローチを容易にする。また、バリアフリーやユニバーサルデザインを取り入れ、すべての人が等しく、安心安全に利用できる施設にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1階～3階に11人乗りエレベーターを設置 ・段差解消（各部屋への出入口） ・手すり設置（すべての階段、各部屋への出入口、廊下等） ・多目的トイレにオストメイトを設置等 		
事業費	140,500千円		
事業費の内訳	<p>工事請負費 135,000千円</p> <p>委託料（工事監理） 5,500千円</p>		
財源の内訳	（特定財源） 市債 140,500千円	（一般財源） —	
実施時期 （工期）	令和5年6月～令和6年3月		
備考			